取扱説明書

チャイム内蔵タイマー

CT-10C

このたびはノボルのチャイム内蔵タイマーＣＴ-１０Ｃをお買上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）

■特長

・チャイム音を内蔵しています。（２曲のうち１曲選択）
・アンプ、スピーカとの組合わせでチャイム放送システムが可能です。
・予備入力が付いています。ＣＤプレーヤ、ラジオ体操（ＣＤコンパクトディスク）、リモコンリレー、アンプ、スピーカとの組合わせでラジオ体操の放送システムが可能です。
・壁掛け型ですから設置場所をとりません。

■目　次

■安全上のご注意

この安全上のご注意および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。		この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
			この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。

⚠ 警 告	
（端子）カバーを外して端子の接続をする時やヒューズを交換する時は必ず電源プラグを抜いてから作業してください。感電の原因になります。	
使用中は（端子）カバーを取り付けて、端子に触れないようにしてください。感電の原因となります。	
表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流電源には接続しないでください。火災の原因となります。	
この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。発熱により高温となり、火災、やけどの原因となります。	
風呂場などの水場では使用しないでください。火災、感電の原因となります。	
この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災、感電の原因となります。	
この機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。この機器のキャビネットは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、整備、修理は販売店に依頼してください。	
電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードが傷ついて、火災、感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまう事がありますので避けてください。	

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災の原因となります。すぐに電源コードを電源から外してください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源コードを電源から外してから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

万一、内部に水などが入った場合は電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

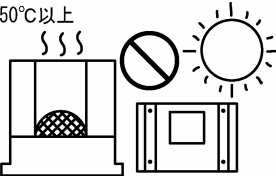
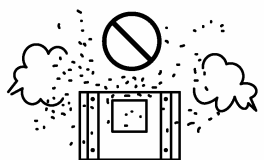
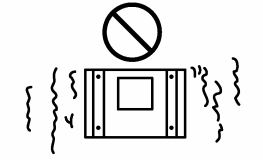
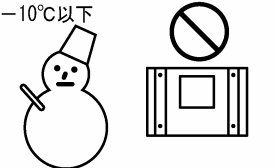
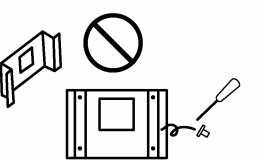
⚠ 注 意

湿気や、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いて、外部機器との接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電源コードをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。コードを引っ張りますと、傷がつき、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

濡れた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

ヒーターの熱風や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に取り付けないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

この機器の上にのったり、ぶらさがったり、ものをのせたりしないでください。落下したり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため、電源コードをコンセントから、抜いて作業を行なってください。感電の原因となることがあります。

■設置、使用上の注意

・本機は拡声放送専用のタイマーです。他の用途には使用しないでください。
・電気的雑音の多い場所でご使用になる場合は、雑音発生源や雑音がのった強電線から入力、出力信号線及び本機をできるだけ離してください。
・次のような使い方はしないでください。

直射日光のさし込み場所や50℃を超える温度の高い場所。

ほこりの多い場所や腐食性のガス発生場所。

振動、衝撃の大きい場所。

周囲温度が−10℃以下の場所。

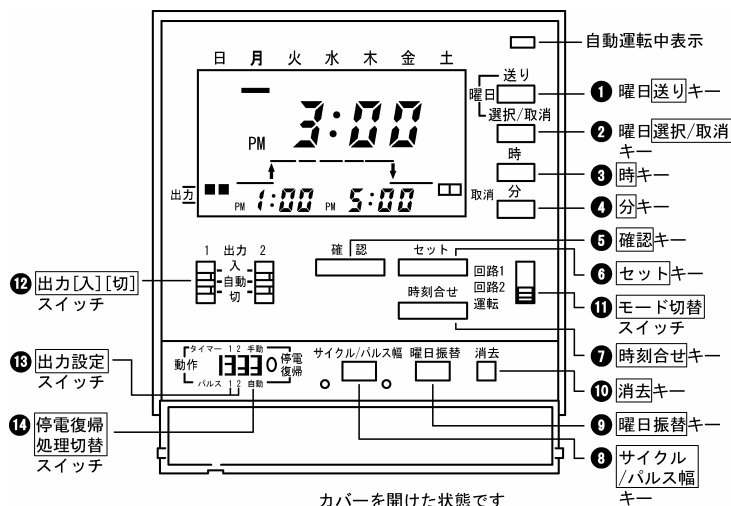
水、油のかかる場所や湿度の高くなる場所。

内部回路の改造。

■各部の名称と説明

コード引出し口
ゴム穴にコードを通してから接続します。
チャイム曲目切換端子
ソケットをＡまたはＢに挿入して曲を切換えます。８ページ
Ａ：ウエストミンスター
Ｂ：ホイッティングトン
タイムスイッチ部
時刻合せや、時間設定を行います。６、９～１２ページ（別紙「Ｈ５Ｓデジタル・ウィークリータイムスイッチ取扱説明書」参照）
テンポ（チャイム）調節ボリューム
チャイムの早さを調節します。８ページ
本体取付穴
本体を壁などに取付る時の取付穴です。（付属ネジを利用してください）６ページ
3:00
1:00
5:00
出力接点１
無電圧メーク接点
接点容量
ＤＣ２４Ｖ、５Ａ（抵抗負荷）
チャイムやラジオ体操放送をする場合アンプを制御する端子です。７ページ
出力接点２
無電圧メーク接点
接点容量
ＤＣ２４Ｖ、５Ａ（抵抗負荷）
ラジオ体操放送をする場合リモコンリレー（ＲＢ－２００）と接続し、ＣＤプレーヤを制御する端子です。７ページ
チャイム音量調節ボリューム
チャイム音量を調節します。８ページ
（電源プラグ）
ＡＣ１００Ｖ
５０／６０Ｈｚ
出力端子
１００ｍＶ（－２０ｄＢＶ）
５ｋΩ不平衡
チャイムと予備入力からの信号がミキシングされた出力となります。７ページ
予備入力音量調節ボリューム
予備入力の音量を調節します。１０ページ
ダストカバー
タイムスイッチを操作する時は手でカバーをはずします。８ページ
カバー留め具
引くとカバーを手ではずすことができます。６ページ
左端子カバー
本体取付や配線、調節するときにカバーをはずします。
終了後は必ずもとの状態にカバーをつけてください。６ページ
右端子カバー
本体取付や配線、調節するときにカバーをはずします。
終了後は必ずもとの状態にカバーをつけてください。６ページ
予備入力ピンジャック
７７５ｍＶ（－２ｄＢＶ）
５０ｋΩ不平衡
ＣＤプレーヤからの信号出力を接続します。
７、１０ページ

■タイムスイッチ部の名称

カバーを開けた状態です

■取付方法

１．壁に縦２０cm、横３０cm 程度のスペースを用意してください。

２．左右の端子カバーを手ではずしてください。
（配線又は調節後は必ずカバーをもとの状態に取り付けてください。）

端子カバーのはずしかた

端子カバーの取り付けかた

３．壁に付属の丸木ネジ（３.８×１６）を首下長さ５mm 位までねじ込んでください。

４．本機をネジにひっかけた後、ネジをさらにしめ込んで固定してください。

■接続のしかた

①チャイム放送をする場合

本機

極性⊕、⊖を合わせてください。

AC100V
50/60Hz

信号線にはシールド線を使用してください。また、極性（H：ホット⊕、C：コールド⊖）を合わせて配線してください。

チャイム入力

リモート

スピーカ出力

アンプ（FG-706等）

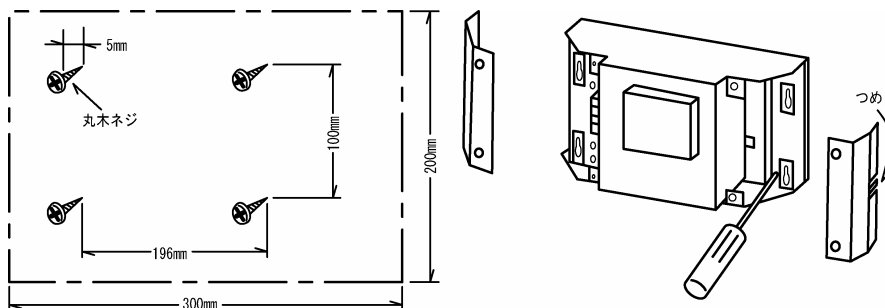
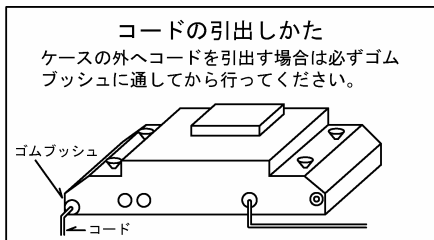
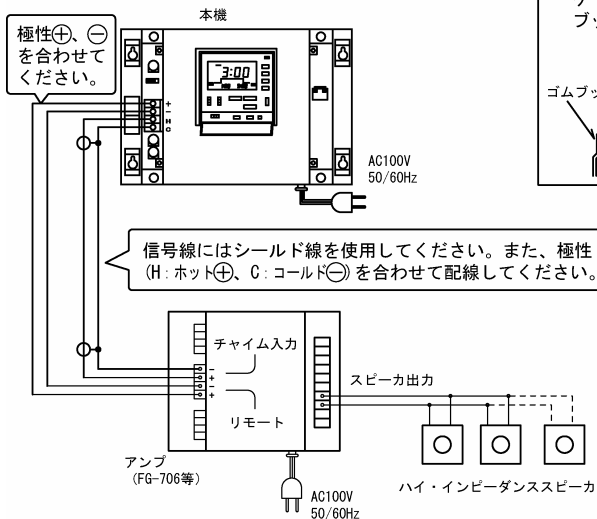
AC100V
50/60Hz

ハイ・インピーダンススピーカ

コードの引出しかた

ケースの外へコードを引出す場合は必ずゴムブッシュに通してから行ってください。

ゴムブッシュ

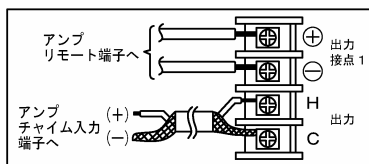
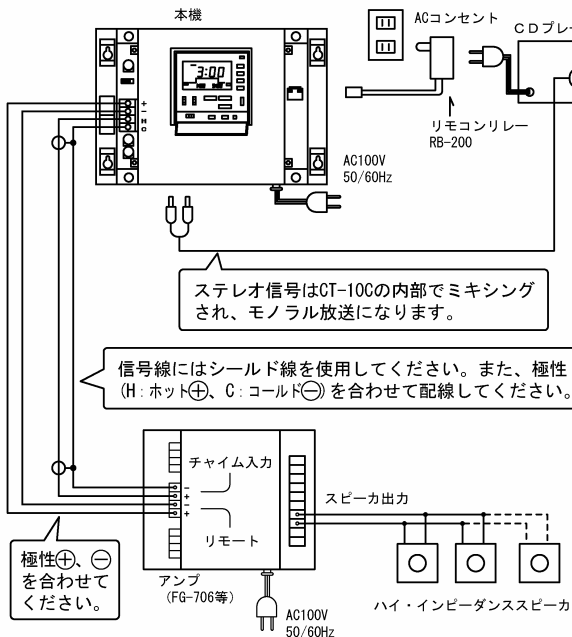
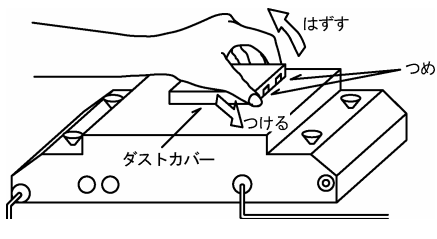
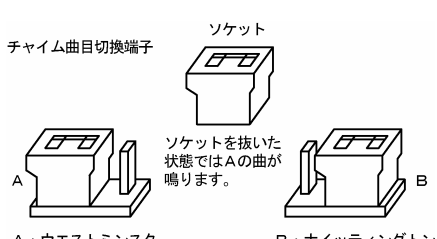
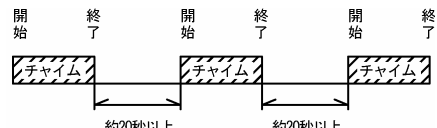
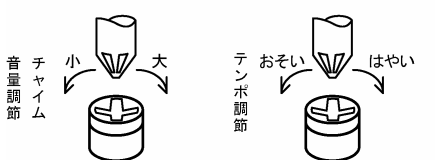
コード

・出力端子１接点からアンプ（FG-706等）のリモート端子へ接続してください。

・出力端子(H)、(C)からアンプのチャイム入力(＋)、(－)へシールド線で接続してください。

アンプリモート端子へ

⊕ ⊖ 出力接点１

アンプチャイム入力端子へ (＋) (－)

H C 出力

②ラジオ体操（ＣＤ）放送とチャイム放送をする場合

■使用方法

①ダストカバーのはずし方、付け方

タイムスイッチ部を操作するときは手でダストカバーをはずしてください。

1．図の部分を手で強くつかみながら上に持ち上げてはずしてください。
2．付けるときは元の位置にかぶせて、手で押えると留まります。

②チャイム放送のしかた

1．曲目の選択、調整、確認

チャイム曲目切換端子　ソケット

ソケットを抜いた状態ではAの曲が鳴ります。

A　B

A：ウエストミンスター　B：ホイッティングトン

1．曲目切換端子を手で操作してA、Bのうちどちらかの曲を選んでください。
　A：ウエストミンスター
　B：ホイッティングトン

　工場出荷時はウエストミンスターになっています。

出力「入」「切」

チャイムを鳴らす。

1　出力
入
自動
切

2．出力「入」「切」スイッチ（P6、タイムスイッチ部の名称⑫）の出力1を「入」にしてください。チャイムが1回鳴って停止します。

開始　終了　開始　終了　開始　終了

チャイム　チャイム　チャイム

約20秒以上　約20秒以上

3．再度チャイムを鳴らすときは、チャイムが鳴り終わって約２０秒以上待ってから出力「入」「切」スイッチの出力1を「入」にしてください。

ご注意

チャイムが鳴り終わって、すぐに出力「入」「切」スイッチの出力1を「自動」から「入」にしてもチャイムが鳴らないことがあります。

ご注意

ボリュームを強い力で回わすとこわれることがあります。ドライバで軽く回わすようにしてください。
（最大回転角度２１０°）

チャイム音量調節　小　大

テンポ調節　おそい　はやい

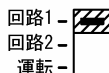
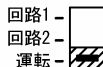
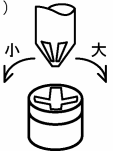
4．音量はチャイム音量調節ボリュームで調節してください。
5．チャイムの早さはテンポ調節ボリュームで調節してください。

・チャイム演奏時間約 10 秒～約 28 秒

②チャイム放送のしかた

２．自動放送プログラムの登録

１．タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ（Ｐ６、タイムスイッチ部の名称⑬）１、２とも「パルス」にしてください。また停電復帰を「自動」にしてください。
製品出荷時は図のように設定しています。

２．タイムスイッチ部の出力「入」「切」スイッチの出力１を「自動」にしてください。

３．タイムスイッチ部のモード切替スイッチ（Ｐ６、タイムスイッチ部の名称⑪）を「回路１」にしてください。

４．[送り]キーを押して▼カーソルを移動し、放送する曜日に合わせて[選択]キーを押してください。選択された曜日には“ － ”マークが表示されます。

５．４を繰り返し、チャイムを鳴らしたい曜日に全て“ － ”マークを表示させてください。（これで毎日、月～土曜日などの指定ができます。左図は月～金曜日のAM8:00にチャイムを鳴らす設定です。）

６．[時]、[分]キーを押して、チャイム演奏開始時刻を表示させてください。

７．[セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。

８．[パルス幅]キーを押してチャイム演奏時間の[25Ｓ]を表示させます。

９．[セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。

１０．４～９の手順をくり返して全てのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替]スイッチを＜運転＞にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。

「パルス幅」は、演奏時間、「m」「s」はそれぞれ、分、秒を表します。各キーやスイッチの位置は、Ｐ６、タイムスイッチ部の名称を参照してください。

③ラジオ体操（ＣＤ）放送のしかた

１．音量の調節及び確認

本機とＣＤプレーヤが正しく接続されているか確認してください。（Ｐ７、「接続のしかた」参照）

出力「入」「切」

出力　2
入
自動
切

１．出力「入」「切」スイッチの出力２を「入」にしてください。接続したＣＤプレーヤとアンプが起動し放送状態になります。

ご注意
ボリュームを強い力で回わすとこわれることがあります。
ドライバで軽く回わすようにしてください。
（最大回転角度２１０°）

予備音量調節
小
大

２．放送の音量は予備入力音量調節ボリュームで調節してください。

２．自動放送プログラムの登録

出力設定切替

タイマ１　２手動
動作
停電復帰
パルス１　２自動

ご注意
放送時刻設定後１、２スイッチを動かすと設定内容が消えます。

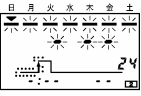
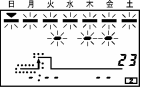
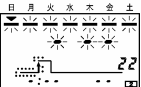
１．タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチを１、２とも「パルス」にしてください。また停電復帰は「自動」にしてください。
製品出荷時は図のように設定しています。

出力「入」「切」

出力　2
入
自動
切

２．タイムスイッチ部の出力「入」「切」スイッチの出力２を「自動」にしてください。

	記入例		月		火	
出力	1	2	1	2	1	2
放送	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操
AM	8:20	8:25 (3分) 8:28 (25秒)				

放送時間記録用紙の出力２（ラジオ体操）の枠に放送したい時刻と演奏時間を記入してください。プログラムの登録は、演奏時間を分と秒に分けて登録しなければならないので分と秒の二つに分けて記入してください。

例　（放送時間）　（演奏時間）
１　ＡＭ８：２５～　３分間･･･分の設定
２　ＡＭ８：２８～２５秒間･･･秒の設定

（15 ページの放送時間記録用紙の記入例を参照）

ＣＤプレーヤの機種によっては 3 分 25 秒以内にラジオ体操が終わらなかったり、第 2 曲目が開始したりする場合がありますので、秒の設定で調整して合うようにしてください。

１．タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路２」にしてください。

分の設定

２．[送り]キーを押して▼カーソルを移動し放送する曜日に合わせて[選択]キーを押してください。選択された曜日には“ − ”マークが表示されます。

３．２を繰り返しラジオ体操を放送する曜日に全て“ − ”マークを表示させてください。（これで毎日、月〜土曜日などの指定が可能です。左図は月〜金曜日のAM8:00 にラジオ体操を放送する設定です。）

４．[時]、[分]キーを押して、ラジオ体操開始時刻を表示させてください。

５．[セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。

６．[パルス幅]キーを押してラジオ体操放送時間の[３m]を表示させます。

７．[セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。

秒の設定

８．２、３の手順を繰り返して曜日の設定をしてください。

９．[時]、[分]キーを押して、ラジオ体操開始時刻の３分後の時間を表示させます。

１０．[セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。

１１．[パルス幅]キーを押して [25ｓ]を表示させます。（画面の表示は[60m]の次に[1s]に戻ります）

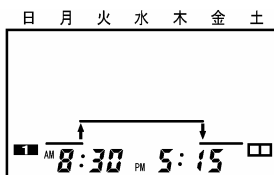
注：ラジオ体操の最後が切れる場合は、[28s]に設定してください。

１２．[セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。

１３．２〜１２の手順をくり返して全てのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替]スイッチを<運転>にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。

「パルス幅」は、演奏時間、「m」「ｓ」はそれぞれ、分、秒を表します。各キーやスイッチの位置は、Ｐ６、タイムスイッチ部の名称を参照してください。

④その他の使用方法

１．今日の動作の確認

画面の下部に表示されます。
（通常は次の動作を表示しています。）

[モード切替]スイッチが運転になっていることを確認してください。
[確認]キーを押すと最初のステップの内容が表示され、続けて[確認]キーを押すと次のステップの内容が表示されます。
すべての登録内容が表示されたら現在時刻の表示に戻ります。

各キーやスイッチの位置は、Ｐ６、タイムスイッチ部の名称を参照してください。

２．登録したプログラムの内容の確認及び修正

[モード切替]スイッチをチャイムの場合は＜回路１＞に、ラジオ体操の場合は＜回路２＞に切替えます。
[セット]キーを押すと登録内容が表示されます。押す度に登録内容が「時刻」「演奏時間」の順で表示されます。
修正する場合、修正したい個所が表示されている時に[パルス幅]キー、[時]キー、[分]キーにて変更し[セット]キーを押してください。
[モード切替]スイッチを＜運転＞に戻す。

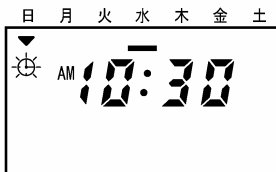
３．登録した内容を全て消去する

[消去]キーを押すと下図のように表示されます。

（１秒間表示）

この消去の作業は、登録した内容をすべて消去します。選択した内容だけを消去することは出来ませんのでご注意ください。
[モード切替]スイッチをチャイムの場合は、＜回路１＞に、ラジオ体操の場合は＜回路２＞に切替えます。
[消去]キーを押す。
[モード切替]スイッチを＜運転＞に戻す。

４．時刻、曜日を修正する

時計マークと▼マークが表示されます。

[モード切替]スイッチが＜運転＞になっていることを確認してください。
[時刻合せ]キーを１秒以上押し続けてください。時計マークが表示されます。[時]キー、[分]キーで時刻を設定してください。
曜日[送り]キーを押してカーソルを移動して曜日を指定し、曜日[選択]キーを押して設定してください。
[セット]キーを押してください。この瞬間から時計がスタートします。

※タイムスイッチの詳細につきましては、
「Ｈ５Ｓデジタル・ウィークリータイムスイッチ取扱説明書」を参照ください。

■故障かな？

機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因になっている場合が多いものです。修理を依頼される前に次の点検項目をチェックしてください。

症　　状	点　検　項　目	処　　置
鳴らない。	電源プラグが抜けていませんか。	プラグを差してください。
	出力「入」「切」スイッチが「切」になっていませんか。	「入」にしてから鳴るかどうか確認してください。
	出力「入」「切」スイッチが「入」になったままになっていませんか。	いったん「自動」にしてから再度「入」にして確認してください。
	ボリュームが最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	アンプとの接続は確実ですか。 ・ネジがゆるんでコードが外れている。 ・線からひげが出て隣の端子やシャーシに触れている。 ・コードが途中で切れている。 ・コードが途中でショートしている。 ・コードの極性が違う。	正しく接続してください。
	アンプとスピーカの接続は確実ですか。 ・スピーカ線が外れている。 ・スピーカ線が途中でショートしている。	
設定した時間に鳴らない。	出力設定切替スイッチが自動になっていますか。	自動に切替えてください。
	プログラムの設定内容に間違いはありませんか。	正しくプログラムを設定してください。
	モード切替スイッチが「運転」になっていますか。	「運転」に切替えてください。
鳴ったり鳴らなかったりする。	ネジがゆるんでいませんか。	正しく接続してください。
	コードが途中で切れかかっていませんか。	
アンプが常時起動状態になる。	ＣＴ－１０Ｃの出力接点とアンプの起動端子の極性は合っていますか。	Ｈ（ホット）（＋）、Ｃ（コールド）（－）の極性を合わせて配線してください。
	ＣＴ－１０Ｃの出力接点とアンプの起動端子を接続する線がショートしていませんか。	正しく接続してください。
チャイムの演奏時間がプログラムできない。	出力設定スイッチが「タイマ動作」側になっていませんか。	「パルス動作」側に切替えてください。
雑音が出る。	本体や信号線の近くに強いノイズを出すような器具又は電線がありませんか。	本体や信号線から器具又は電線を遠ざけてください。
	信号線の極性、Ｈ（ホット）（＋）、Ｃ（コールド）（－）を間違えていませんか。	Ｈ（ホット）（＋）、Ｃ（コールド）（－）の極性を合わせて配線してください。

■主な仕様

定　格　電　圧	AC100V　50／60Hz
定格消費電力	2．2W
定格消費電流	27mA
タイムスイッチ部	
形　　　式	H5S－A　デジタル・ウィークリータイムスイッチ（オムロン）
動作方式	デジタルクオーツ方式
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｽﾃｯﾌﾟ数	24　（2回路合計）
動作内容	ウィークリー動作 サイクル動作 パルス動作 曜日振替動作 強制ON／OFF動作 停電復帰動作
表　　　示	AM0：00～11：59、PM0：00～11：59
設定方式	用途別キースイッチ方式
最小設定単位	1分単位（パルス動作は1秒より）
停電補償期間	連続5年以上（25℃）
時間精度	±15秒／月以下（25℃）
入　出　力　部	
予備入力	775mV（－2dBV）、50kΩ　不平衡
出　　　力	100mV（－20dBV）、5kΩ　不平衡 音量調節器付
電子チャイム	2曲のうち1曲選択（手動切換式） A：ウエストミンスター B：ホイッティングトン 回路1が起動時に1回動作する 音量調節器及び、テンポ調節器付
接点出力回路	出力接点1　回路1または回路2を設定時動作 接点方式　無電圧メーク接点 接点容量　DC24V、5A（抵抗負荷）
	出力接点2　回路2を設定時動作 接点方式　無電圧メーク接点 接点容量　DC24V、5A（抵抗負荷）
使用温度範囲	－10℃～＋50℃
外　形　寸　法	幅225×高さ163×奥行69．5（mm）
質　　　量	約1．3kg

放送時間記録用紙

	記入例		月		火		水		木		金		土		日	
出力	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
放送	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操	チャイム（パルス）（２５秒）	ラジオ体操
AM	8:20 8:30 8:59 9:00 10:00 10:05	8:25 (3分) 8:28 (25秒)														
PM	12:00 12:37 12:40 3:00 3:10 3:55 4:00 4:25 4:55 5:22 5:30 6:00 6:30 7:00 7:30 8:00															

※ＣＤプレーヤの様式によりラジオ体操の最後が途中で切れたり、次の曲がかかったりする場合があります。
その時は、パルス設定を変更して調節してください。

品　質　保　証　書　持込み

型名	★製造番号 CT -10C	この保証書は無料修理規定により無料修理を行なうことを約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 修理品の送料はご使用者においてご負担ください。
保証期間	お買い上げから一年間 但し、消耗品を除く（詳しくは下記に記載）	
お買い上げ日	★ 年　　月　　日	
★お客様欄　ご住所	〒　　－ TEL（　　）　－	★販売店　住所・店名・電話番号
★お客様欄　お名前	様	

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。製造番号については本体に貼付している規格銘板近くに貼付しています。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管ください。

＜無償修理規定＞

１．　取扱説明書、本体注意銘板などに従った、正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合、商品と本書をお買上の販売店にご持参､ご提示の上、修理をご依頼ください。無償にて修理いたします。

２．　保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。

（１）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。

（２）お買上後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。

（３）火災､地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷。

（４）常識的に正常な動作であるにもかかわらず、修理または、部品交換等の要求をされる場合。

（５）本製品に接続された当社指定以外の機器故障に起因する故障。

（６）お客様のご都合による、出張修理を行なった場合の出張費用。

（７）保証書のご提示が無い場合。

（８）保証書にお買上日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。

３．　メカ部（テープデッキ等）の保証期間は６ヶ月または使用時間１０００時間以内とし、そのいずれか早く達した方と致します。

４．　この保証書は日本国内においてのみ、有効です。This warranty is valid only in Japan

修理メモ

＊ 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。

＊ この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合、お買上の販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

顧客サービスセンター	フリーダイヤル（無料電話）　℡０１２０－０１４－６０２
	受付時間　９：００～１７：００ 商品や技術など、お問い合わせにお応えします。

本社・工場　〒576 -0051　大阪府交野市倉治３丁目５－１０　℡072 -891 -4602

971804D　03.6K(N)